

(様式4)
平成28年12月8日

平成28年度 第2回 大阪市立十三小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立十三小学校

校園長名 前田 耕一

日 時	平成28年11月16日(水)19:00~21:00		
場 所	十三小学校 1階 会議室		
出席者	委員など	大田良和(会長) 森田清輝(委員) 池村昌三(委員) 久本年晴(委員) 南野孝幸(委員) 小出正之(委員) 岡本千代子(委員) 星野敏則(委員) 傍聴者4名	
	校園	前田耕一(校長) 中原勇治(教頭) 藤木利行(教務主任)	
	区役所	榎正文(区長) 昇辰雄(課長代理)	
議題	<ul style="list-style-type: none">(1) はじめに<ul style="list-style-type: none">・委員長挨拶・校長挨拶・区役所より(榎区長挨拶・資料説明)(2) 運営に関する計画(中間評価)について 学校の現状(アンケート等)について(3) 「学校安心ルール」(案)の試行について(4) 「全国学力・学習状況調査」の結果について		
協議要旨	協議の結果	意見の概要	
	(2) 運営に関する計画(中間評価)について、承認された。	<p>○「聞く力」が大切だといった話があったが、他人の話に対する理解力がなければ楽しい会話は生まれない。注力していくのであれば、この点だけの指標があつても良いのではないか。 →基本的には子どもたちの聞こうとする態度に課題があるので、学習態度の改善といったところから進めたい。</p> <p>○キャンペーン的に実施しても睡眠の指標は定着しない。学校保健委員会の回数を増やし、重く取り上げるなどできないか。 →委員会の回数を増やすことは厳しい。睡眠の大切さを繰り返し伝え、意識づけるようフィードバックを行いたい。</p> <p>○子どもの睡眠は学校の課題ではなく、親や家庭の責任だと思う。 →睡眠の大切さを伝え、家庭でも十分な睡眠が大切だと思っていただけるよう情報提供を行いたい。</p> <p>○道徳は大切だが、体感しなければわからない。地域からほめてもらえるような活動を組み込むなど、学校独自で時間を使えないのか。</p>	

		<p>→道徳の授業として履修すべき時間数や項目がある。その他の授業やほかの項目でも道徳の指導を行うこととしており、地域ふれあい清掃なども行っている。今後も取組について考えていきたい。</p> <p>○地域の情報誌は現在休刊しているが、いろんなカタチで学校の取組を伝えたいので、情報提供をお願いしたい。</p> <p>○校長先生や教頭先生は地域の定例会にも出席していただいている。地域で協力できることがあればお手伝いしたい。</p>
(3)	「学校安心ルール」(案)の試行について、承認された。	<p>○「学校安心ルール」はこんな柔らかい表現ではなく、もっとはつきり書いても良いのでは。全市的に取り組むというが、1校でも反対があれば実施しないのか。</p> <p>→教育委員会では現在調査を行っているが、現段階では、基本的には学校長の判断になる。</p> <p>○内容は当たり前のこと。子どもも親もわかっていることだ。出しても良いのではと思う。</p>
(4)	「全国学力・学習状況調査」の結果について説明	<ul style="list-style-type: none"> • 資料をもとに説明
協議資料	①平成28年度 運営に関する計画（中間評価） ②H.28 第2回学校協議会資料（「学校アンケート」より） ③学校安心ルール（案）の試行について ④全国学力・学習状況調査 学校別分析シート ⑤区配布資料	
備考		